

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	一般社団法人東伊豆町観光協会			代表者名	加藤昌利
担当者部署	事務局			連絡先電話番号	0557-95-0700
担当者役職	事務職員	担当者氏名	青嶋優太郎	連絡先E-mail	*****
住所	413-0411 静岡県東伊豆町稲取3354				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	東伊豆町	連絡先部署	観光産業課		
担当者氏名	梅原 伊織	連絡先電話番号	0557-95-6301	連絡先E-mail	*****

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	細川 哲星
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年9月15日	講演(実地)	有	令和6年1月15日	1157
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年12月12日	講演（実地）	13時00分	14時30分	
				活動時間（分）	90
3-2. 派遣場所	会場名	東伊豆町役場	最寄駅	伊豆稲取駅	
	所在地	静岡県賀茂郡東伊豆町稲取3354	最寄駅からの交通手段	徒歩約5分	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	宿泊施設企画係、果樹園オーナー、観光協会	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	マダーミステリーなどの体験型コンテンツと宿泊や滞在を組み合わせる企業や、その対象となれる施設が不明である点	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	アドバイザーの支援をうけ、「謎解き」や「まちあるき」を基軸とした自治体独自のコンテンツ開発のイメージを獲得する。またそのコンテンツを商材として認識し町内のシティプロモーションや高単価商材への展開を図る	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・マダーミステリーの事業説明会 「マダーミステリー」の中国市場の規模や他市町の事例を通して、東伊豆町でマネタイズを考慮したツアーの説明会や検討実施	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	宿泊施設が説明会に参加したため、個社に対してのフォローを行い商品化を検討する展望を踏まえることが出来た。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	参加者から理解者を増やすこと、決裁権を持つ方への訴求	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講義中心のため未実施	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	地域の周遊施策として宿泊増売及び外部への十分な波及効果を残す謎解きコンテンツとして確立する。 展望①ゲーム管理を事業化できる会社を探し、宿泊施設にパッケージとして販売する。展望②自施設のコンテンツとして高単価プランの販売や宣伝効果を換算し収益化を図る	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

マダーミステリー (Murder Mystery) の市場

01
約3000億円の市場規模、
中国の若者に大人気!

中国では、既に市場規模が約3000億円であり、毎年2倍近い成長の推計。また、出前サービス大手の美団が2020年まとめた報告によるとマダーミステリー専門店が20年末で3万店舗を超えるほどのトレンドになっています。

中国市場調査会社「互謀諮詢 (Muzhu)」

02
テレビやYoutubeなど、
日本でもブームの兆し!

Youtubeや芸能人などが配信をしていたり、テレビドラマとして活用されるなどメディアでの露出が国内でも増えていたり、謎解きゲームのように地方創生への活用にも注目されています。

マダーミステリーをベースにした、出演者が豪華な謎解きドラマ。
マダーミステリー「探偵・探偵団の集合戦」
新刊謎解きテレビ (ABCテレビ)
Youtubeの配信では視聴者がコメントを寄せ、再生回数は135万を超えるものもあり多くの観客に人気がある。
オービス加藤のビザジブ Youtube

03
地域起こしでも体験型コンテンツが注目される!

個人やグループが一つの目的を達成する宝探しや謎解きゲームと違い、一人一人がそれぞれの役割や目的をもち、一つの物語に参加する没入感や特別感を味わうことができます。

全国展開の謎解きゲームでも、マダーミステリーが独自に開発した謎解きゲームのコンテンツとして取り上げられている。
Youtube: 地元自治体主催の謎解き
謎解きゲームの紹介記事
福原の謎解きゲーム「探偵団の集合戦」
ONLINEで謎解きゲームが注目された
実際の現場を活用したシナリオ。
平成筑豊鉄道 マダーミステリー
謎解きゲーム

制作事例：神奈川茅ヶ崎周遊型

神奈川県茅ヶ崎市のビーチエリアにて複数店舗を周遊し、地元民との交流機会が生まれる体験を提供。
地域への親近感が湧くような感想が多く、狙い通りの結果となった。

参加人数

1人単価

161人

4,800円

(23回開催) (1ドリンク付き)